

前田利家が陣中でそろばんを使ったと伝えられている

文禄元年（1592）朝鮮（今の韓国）出兵のとき、前田利家が肥前名護屋（今の福岡県）の陣中でそろばんを使ったといわれています。それは長さ約14cm、幅約7.6cm、高さ約1.3cmで枠は黒檀、桁は銅線、玉は獣の骨でできていて、だいたい黒板消しくらいの大きさです。現在は東京の前田尊経閣に保管されています。

日本でわり算九九がひろまった

「算用記」や「割算書」（元和8年 1622）には、最初にわり算九九が掲げてあります。国学者の山田孝雄博士は、「中国で『二一添作五』と称していた句が、割算書で『二一天作五』となっているのは、わり算九九は由来の遠いものである」と述べています。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------|
| <p>七 一</p> <p>逢 六</p> <p>加 下 三</p> | <p>六 五</p> <p>逢 八</p> <p>加 下 二</p> | <p>六 四</p> <p>逢 六</p> <p>加 下 四</p> | <p>六 三</p> <p>逢 天</p> <p>加 下 五</p> | <p>六 二</p> <p>逢 三</p> <p>加 下 二</p> | <p>六 一</p> <p>逢 加</p> <p>加 下 一</p> | <p>五 五</p> <p>逢 五</p> <p>加 下 三</p> | <p>五 三</p> <p>逢 加</p> <p>加 下 二</p> | <p>四 四</p> <p>逢 七</p> <p>加 下 二</p> | <p>四 二</p> <p>逢 天</p> <p>加 下 五</p> | <p>四 一</p> <p>逢 二</p> <p>加 下 二</p> | <p>三 三</p> <p>逢 三</p> <p>加 下 一</p> | <p>三 二</p> <p>逢 六</p> <p>加 下 二</p> | <p>二 二</p> <p>逢 三</p> <p>加 下 一</p> | <p>二 一</p> <p>逢 逢</p> <p>加 下 一</p> | <p>八算之公才</p> |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------|

